

科目名	教化学講義					単位	4.0
担当教員	伊東 恵深						
授業形態	講義	開講期間	通年	配当年次	1	授業番号	2291

●授業のテーマ

真宗の教化と実践

●到達目標

「真宗大谷派宗憲」には、「本派の教化は、宗祖聖人によって開顕された教法を明らかにし、自信教人信の実を挙げることを本旨とする」（第85条）と記されている。本講を通して、「教化」についての基本的知識を習得し、さらに真宗大谷派教師として、教化活動にどのように関わることができるのかについて学んでいく。

●学習内容(授業概要)

「教化」という言葉を基軸として、釈尊・親鸞・蓮如・清沢満之、そして同朋会運動における教化の内実について学んでいく。

そして、真宗大谷派教師として、「自信教人信の誠を尽す」（清沢満之）とはどのような歩みを有することであるのか、私たち一人ひとりのあり方・生き方について問い尋ねていく。

●学習内容(授業計画)

《前期》

1. 授業のガイダンス
2. 「教化」とは何か―「きょうけ」と「きょうか」
3. 教化「学」とは何か
4. 真宗教化の原理
5. 真宗教化の位置
6. 釈尊の求道と教化①
7. 釈尊の求道と教化②
8. 釈尊の求道と教化③
9. 親鸞の求道と教化①
10. 親鸞の求道と教化②
11. 親鸞の求道と教化③
12. 親鸞の求道と教化④
13. 親鸞の求道と教化⑤
14. 補論―「宗憲」における教化
15. 前期の総括（まとめ・テスト）

《後期》

1. 前期の復習
2. 蓮如の求道と教化①
3. 蓮如の求道と教化②
4. 蓮如の求道と教化③
5. 清沢満之の求道と教化①
6. 清沢満之の求道と教化②
7. 教団問題とは何か
8. 同朋会運動と教化①

9. 同朋会運動と教化②
10. 同朋会運動と教化③
11. 現代における教化① 真宗大谷派教師として
12. 現代における教化② 寺院生活のなかで
13. 現代における教化③ 社会問題のなかで
14. 補論—儀式と教化
15. 後期の総括（まとめ・テスト）

●準備学習・事後学習の内容

「準備学習」…次回の授業で学ぶ事柄を予習しておくこと。

「事後学習」…授業で学んだ内容を復習して、そこから自分なりの課題や問題を見つけ出すこと。

●成績評価方法・基準

①平常点（出席・受講態度など）50%、②感想文（授業時に数回）20%、③期末試験（筆記またはレポート）30%

●テキスト（必携）

≪No.2.≫書籍名：『真宗聖典』、著者名：真宗聖典編纂委員会、出版社：東本願寺出版部

●参考文献／その他

授業中に随時紹介する。また必要に応じて、プリントなどを配布する。

●履修上の注意

テキストは必ず持参すること。

受講生との応答を大切にしながら、授業を進めていきたい。授業への積極的な参加を望む。授業中の私語・携帯電話等の使用は厳禁。